

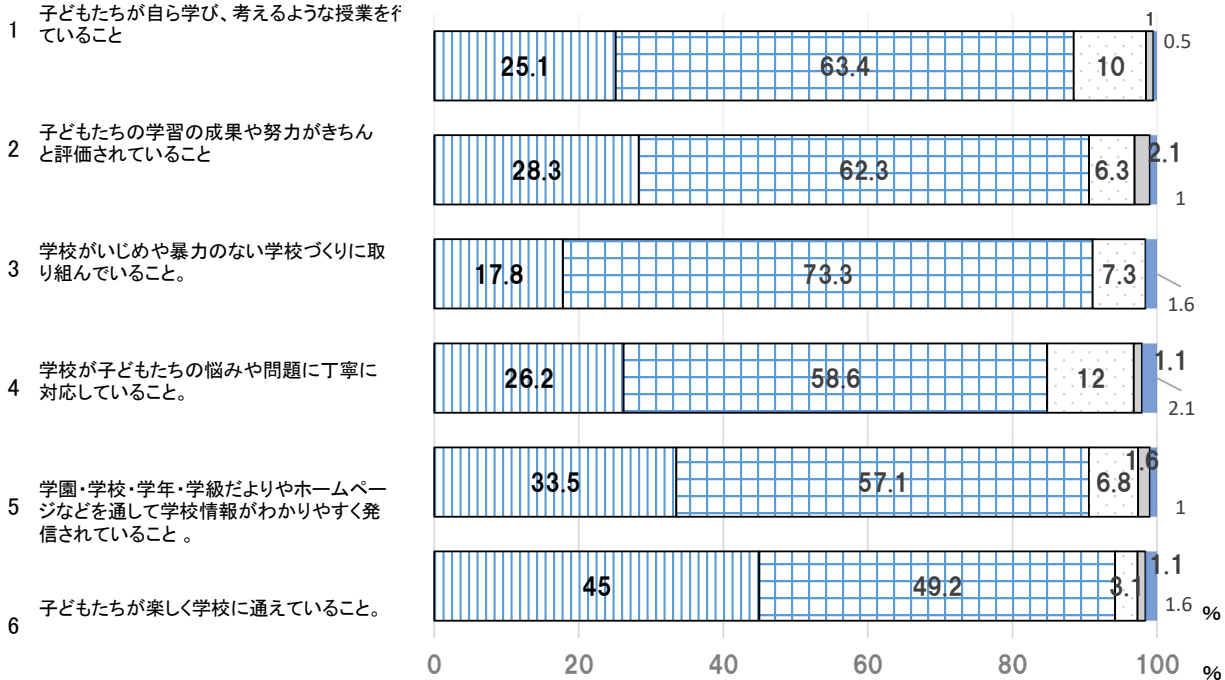
令和7年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

【第七小学校】

【資料1-④】

アンケート実施日 : 令和7年10月24日～11月4日
 アンケート対象者 : 第七小学校保護者
 回収率 : 191 / 児童数430 (44%)

よく出来ている
 大体出来ている
 あまり出来ていない
 出来ていない
 未回答
 はい
 いいえ



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

「子どもたちが楽しく学校に通えていること」では、令和6年度・7年度ともに肯定的回答が94.2%と非常に高い水準を維持しており、子どもたちにとって学校が安心できる場となっていることが確認できます。また、「学校がいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいること」では、令和7年度の肯定的回答が91.1%と前年度(89.7%)を上回り、否定的回答も減少しています。いじめ防止に向けた日常的な指導や組織的対応、早期発見・早期支援の取り組みに対して一定の評価をいただいたと受け止めています。

「学校情報の発信」について、肯定的回答は令和6年度の86.1%から令和7年度には90.6%へと大きく改善しました。校支援アプリを活用した配信、学校だよりの充実、ホームページの更新頻度向上など、情報発信の質と量を意識した取り組みが成果につながったと考えられます。

「学習の成果や努力の評価」や「子どもたちが自ら学び、考えるような授業」の促進についても依然として9割前後の高い評価をいただいております。日々の授業改善や学習評価の見直しが継続的な信頼につながっています。

全体として、本校の子どもが安心して学べる環境づくり、丁寧な情報発信、いじめ防止の実践等における着実な前進を評価していただきました。

課題

「子どもたちが自ら学び、考えるような授業」では、肯定的回答が令和6年度の91.9%から、令和7年度は88.5%へとやや減少し、否定的回答も8.1%から11.0%へ増加しています。主体的な学びを促す授業づくりが引き続き重要であり、課題設定の工夫や対話的な活動、振り返りの充実など、授業改善の継続が求められます。

「学習の成果や努力の評価」についても肯定的回答が92.4%から90.6%へと低下し、否定的回答は7.6%から8.4%へ増えています。個別最適なフィードバックのあり方や、保護者への説明の分かりやすさなど、評価の透明性・納得感を高める取り組みが必要と考えます。

「子どもたちの悩みや問題への丁寧な対応」では、肯定的回答が91.1%から84.8%へと顕著に低下し、否定的回答は7.6%から13.1%に増加しています。相談体制の強化、教職員の対応の統一、保護者との連携の仕方を見直すなど、学校全体の支援力を高める必要があります。

総じて、本校は高い評価を維持しつつも、授業改善、個に寄り添う評価、相談支援の充実といった領域で、更なる取組が求められています。